第６学年　国語科学習指導案

指導者　　安部　詠子
図書館司書　厚田　めぐみ

１　単元名　　国東の未来について、プレゼンテーションしよう
（『町の幸福論－コミュニテイデザインを考える』東京書籍６年）

２　単元の目標　　複数の資料から読み取った情報を、目的に応じて活用することができる。
意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発表することができる。

【重点指導事項】
◎目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。　［読む：カ］
○目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。　［話す・聞く：イ］

３　単元にかかわる児童の実態
○これまで、事実と意見に注意して筆者の考えを読み取って自分の考えを持ったり、読み手を説得するための工夫を読み取ったりすることを学習していきている。しかし、複数の資料を読み比べたり適切に選び抜いたりしながら活用していくには繰り返し指導がいる。
○さらに、図表などを用いて、効果的に自分の考えを発表する学習は十分でない。

４　言語活動とその特徴
本単元では､自分たちの国東の未来についてプレゼンテーションを行うという言語活動を設定した。ある事柄についてプレゼンを行う場合、まずは情報を集める力が必要となる。また、集めた情報を、自分の発表の目的に合わせて取捨選択したり、加工したりする力が大切になってくる。そして、その情報をいかに効果的に見せ、説明するかというプレゼンテーションに必要な力とともに、複数の資料から読み取った情報を効果的に活用できる力を育てるようにしていきたい。

５　本単元で用いた並行読書材
図書館司書と連携を図り、『町の人とつくるユニバーサルデザイン』『商店街を救え』『おかえりコウノトリ』など、町作りに関する本や、地域の行事に関する資料や国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会が発行している『木が食料を産む』をはじめとするさまざまなパンフレットや新聞記事も並行読書させたい。

６　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む力	話す・聞く力	言語についての知識・理解・技能
・自分たちの住んでいる国東の未来に関心を持ち、進んで教材文や本、資料を読んで調べようとしている。 ・調べた内容を相手に伝えようとしている。	・目的に応じて、複数の本や資料を選び、比べて読んでいる。（カ）	・目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じて適切な話し方で話している。（イ）	・目的に応じた文章の構成について理解している。（イ（キ））

７　指導計画（全１３時間）

次	学習活動（時数）	指導及び留意点	評価・方法
一次 1 時間	**【学習の見通し立てる】** ①自分たちの住んでいる国東について考えてプレゼンテーションを行うという学習課題を確認する。 並行読書 国東の未来について、プレゼンテーションしよう。	・道徳の時間と関連させ、町おこしに関わった人の話を取り上げ、自分たちの住んでいる地域について知っていることなどを想起させる。 ・プレゼンテーションの動画を見せ、伝えたい相手を意識させながら目標となる活動への意識を高める。 ・次時からの流れを確認し、「町の幸福論」と並行して町作りについての本や資料などを読んでいくことを伝える。	○自分たちの住んでいる国東の未来に関心を持ち、進んで教材文や本、資料を読んで調べようとしている。（行動観察）

二次 4 時間	**【『町の幸福論』を読み、本文の内容を読み取る】** ②教材文を読んで、文章の構成と序論の内容を読み取る。	・教科書の文章構成図を手がかりに、序論・本論・結論の構成を確かめ、序論部分に書かれている内容を押さえる。 ・筆者が、「豊かさ」について「人と人とのつながり」という観点から意見を述べていることを押さえ、自分たちが発表する際にもその観点を参考にすることを伝える。	
	③④ 文章の内容を読み取るとともに図表などの資料の用いられ方とその効果を確かめる。	・コミュニテイ―デザインにおける重要な二つの点「住民が主体的に町作りに取り組むこと」「未来のイメージをえがくこと」を押さえる。 ・用いられている資料の効果やよさについてまとめさせる。	○目的に応じて、複数の本や資料を選び、比べて読んでいる。 （メモ・構成表）
	⑤文章の要旨を読み取り、筆者のメッセージを踏まえて、国東の未来についての自分の考えを持つ。（本時）	・筆者のメッセージに対して自分はどう考えるかを出させる。 ・自分たちの住んでいる町や国東市について感じていることや考えていることを発表させ、教材文の内容とどう関連させていくかを考えさせる。 ・「町の幸福論」と並行して読んできた本や資料との関連を考えさせる。	○目的に応じた文章の構成について理解している。 （ノート・発言）
三次 5 時間	**【本や資料などから情報を集め、国東の未来についてプレゼンテーションを行う準備をする】** ⑥⑦ これまでに並行して読んできたものも含め、さまざまな本や資料、インタビューなどから情報を集める。	・グループに分かれ、「自分たちの町にはどんな課題があるか」調べたいことを話し合わせる。 ・調べたいことについて、どうやって調べるのか話し合わせて、情報を集める手立てが考えられるものに絞らせる。 ・本やインターネットのほか、インタビューやアンケートなども効果的な情報を得る方法であることを確かめておく。	
	⑧収集した情報を整理して、発表内容とプレゼンテーションに必要な資料を考える。	・集めた情報の中から、提案の内容にふさわしい事例を選ばせる。写真や図表、グラフなど、資料として用いるものについても、候補を挙げさせておく。	
	⑨プレゼンテーションの構成を決めて、発表に必要な資料を作る。	・「話の一まとまりにつき一資料」を原則にし、意図を明確に伝えるのにふさわしい情報に絞って資料を作成させる	
	⑩提案の良さが伝わる話し方の工夫を考えながら、プレゼンテーションの練習をする。	・グループで互いの発表を聞き合い、聞き手に提案のよさが伝わるか考えて、話し方や資料の見せ方の工夫、言葉の使い方を中心に練習させ、助言し合わせる。	
四次 3 時間	**【プレゼンテーションによる発表を行い、意見の交流を行う】** ⑪⑫ ・自分たちがえがいた「国東の未来」についてプレゼンテーションを行う。	・地域の人やお世話になった人など、自分たちの提案を聞いてもらえるようゲストをお招きする。 ・他のグループの発表を聞き、提案の内容や発表の構成、分かりやすさなどについて感想を述べ合ったり、助言し合ったりさせる。	○調べた内容を相手に伝えようとしている。 （行動観察・発言） ○目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じて適切な話し方で話している。 （行動観察・発言）
	⑬ 学習をふりかえって、分かったことやできるようになったことを確かめる。	・教材文を読み返して筆者の主張を確かめ、各グループの発表をふりかえらせる。 ・今後の学習で活用したいことや、活用する場を考えさせる。	

８　本時案（５／１３）
（１）題目　　筆者が伝えたいことをまとめ、国東の未来について考えよう
（２）主眼　筆者の主張に対する自分の考えをまとめたり、国東の未来について考えを出し合わせたりする活動を通して、自分たちのプレゼンテーションに向けて、どのような資料や本の情報を集めていくとよいか手がかりをつかむことができる。
（３）展開

学習活動	時間	形	指導・支援	評価
１　本時のめあてを確かめる。	5	全	前時までに、プレゼンテーションで、説得力のある提案には資料の効果があることを理解している。 国東の未来を提案するときに大切なことは何か。	
２　文章の要旨をまとめ、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。	15	全	○結論部分を読み、筆者の伝えたいことをまとめる。 ○筆者のメッセージに対して自分はどう考えるかを書き出させる。 ・⑮段落の中の筆者による問いかけに注目しそれを手がかりに考えさせる。	
３　国東の未来について感じていることや考えていることを交流する。	20	ペア 全	○自分たちの住んでいる国東の未来について考え、プレゼンテーションでどんな内容を提案をするか、各自のアイデイアをワークシートに書き出させる。 ・国東について感じていることや考えていることを発表させ、教材文の内容とどう関連させていくかを考えさせる。 【国東はどんなところ】 ・産業・環境・催し物など 【国東にくらしていて感じること】 ・よいところ　・不便なところ 【どんな町になったらよいか】 ・筆者の考えを受けて「人と人とのつながり」を作るための取り組みという観点から手がかりを考えさせるようにする。 ・国東の魅力をよく考えて PR すること ・大人だけでなく自分も国東を元気にする取り組みに参加すること ○わかる範囲で、調べる方法についても考える。 ・「町の幸福論」と並行して読んできた本や資料との関連を考えさせる。	○読み取ったことからどのような資料や本の情報を集めていくとよいのか手がかりをつかむことができる （発言・メモ）
４　ふりかえりをする。	5	全	○次時は、いろいろな資料を読み、発表に必要な情報を集めることを確かめる。	